

# 平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	10	担当部課名称	建設部道路建設課
事務事業名	浜園橋橋りょう整備事業		
見直しのタイトル	橋りょう詳細設計における技術支援業務の導入		
添付資料 有無	無		

## 1 現状における課題

平成31・32年度以降に浜園橋の架け替え工事を行う予定となっているが、橋りょう整備事業は協議先が多岐にわたり、橋梁に接続する周辺道路や護岸も含め施工規模が大きく、複雑であることから、設計、工事発注、施工監理等を円滑に実施するには、専門性の高い複数の職員を配置する必要がある。また、市が行う橋りょう事業は実施頻度が少なく、業務を担う職員の技術やノウハウの蓄積が乏しい状況である。

## 2 業務改善の趣旨及び具体的内容

橋りょう整備に関して業務経験が豊富で高い専門性や技術を有する民間委託業者に橋りょう詳細設計に係る技術支援業務を委託することにより、業務の再配分を行い、発注者が必要とする専門性の高い技術を補完することで、精度の高い設計に努めるとともに、他機関との協議や交渉を円滑に行い業務をすすめる。

## 3 改善により期待できる効果

業務成果の質的向上による専門技術やノウハウを蓄積して、技術伝承に寄与する人材育成を図ることが可能となる。また、業務上の人的資源が効率的・効果的に活用されることで、生産性の向上が期待でき、残業時間の抑制等職員の負担軽減が図られると考えられる。

## 4 実施スケジュール（概要）

- ①橋りょう詳細設計委託積算・ 橋りょう詳細設計支援業務積算 5月
- ②橋りょう詳細設計委託発注・ 橋りょう詳細設計支援業務発注 7月
- ③委託業務着手 8月
- ④委託業務出来高確認 2月
- ⑤委託業務一部完了精算支払 3月

## 5 実施結果の振り返り

技術支援業務を都市整備技術センターへ委託することで、他橋梁での豊富な設計及び施工の経験から課題等のアドバイスや、河川管理者であった神奈川県の方など、専門性の高い技術等を詳細設計委託の請負業者へ伝えることができ、効率的な進捗が図られた。

設計精度の向上や他機関との協議や交渉を効率的・効果的に進められたことに加え、残業時間の抑制や職員の負担軽減が図られた。

詳細設計委託は2か年の債務負担行為を設定していることから令和元年度においても継続する。